高輝度、省エネ、蛍光灯インバーター！

ＡＣ１００Ｖタイプ
１０Ｗ用蛍光灯インバーター基板
（基板完成品）ＦＬ－１０１００

CODE 555－380　改訂第2版

※ＡＣ１００Ｖで１０Ｗ蛍光管を点灯させた場合の明るさと消費電力比較です。これは従来のものに比べ、本インバーター蛍光灯は明るさが１８％明るく、消費電力が１２％も少ないことを意味します。

明るさ比較

従来の蛍光灯	明るさ33000　ｌｘ
ｲﾝﾊﾞｰﾀｰ蛍光灯	明るさ39000　ｌｘ

※蛍光管から一定距離の測定結果です。

消費電力比較

従来の蛍光灯	消費電力１３．５Ｗ
ｲﾝﾊﾞｰﾀｰ蛍光灯	消費電力１１．９Ｗ

また、インバータタイプの蛍光灯は次のような特長があります。

★安定器タイプの蛍光灯より明るく、消費電力が少ない。
★チラツキが無いので目が疲れにくい。
★安定器から出る耳障りな音が出ないため低雑音。
★０．５秒以下の瞬間スタート。
★安定器タイプの蛍光灯に比べ軽量なため、取付の負担が少ない。
★電源周波数５０Ｈｚ、６０Ｈｚの区別なしに使用できる。
★安定器に比べ発熱が少ない。

【仕様】
入力：ＡＣ１００Ｖ（50Hz、60Hz）

出力：蛍光管９～１０Ｗ相当品（直管、及び松下ＦＰＬ９ＥＸ－Ｄ）蛍光管は付属しません。
消費電力：１１．９Ｗ（ＡＣ１００Ｖ　１０Ｗ蛍光管使用時標準）
保護回路：突入電流制限、出力短絡、開放、不点灯時保護回路
使用温度範囲：５～３５℃
使用湿度範囲：３５～８５％（結露しないこと）
基板寸法：３０㎜×１２０㎜
（最大高さ３０㎜）

◆従来の安定器に比べ、明るく、しかも消費電力が少なくなっています。
◆蛍光管に小型のツイン型を使用することで、コンパクトで軽量な蛍光灯が製作できます。

※製品仕様は予告なく変更する場合があります。ご了承下さい。

本蛍光灯基板はＡＣ１００Ｖの電源を使用します。説明書を充分に読んだ上安全にお使い下さい。

【接続】

各部の接続と基板の取付が終了するまでは電源を接続しないで下さい。

ソケットと電源コード部分をハンダ付けします。ソケットには極性があります。図１を見て、間違えないように接続して下さい。
９Ｗ～１０Ｗの蛍光管を用意します。

９Ｗツイン蛍光管用のソケットが付属しています。ご使用の蛍光管に合わせたソケットを使って下さい。

ＡＣコードは図１の様に接続します。電源スイッチを組み込む場合は別にＡＣ１２５Ｖ用３Ａ以上のスイッチをお求め下さい。

一般の蛍光灯器具に組み込む場合、事前に、”組み込みスペースがあるか””組み込んだ場合、感電やショートの心配はないか””配線が可能か”を充分にチェックしてから組み込んで下さい。また、各配線材には０．７５ｍｍ²以上のものを使用しハンダ付けは確実に行なって下さい。参考までに、安定器タイプの蛍光灯接続図とインバータータイプの蛍光灯の接続図を示します。（器具によってスイッチなどの位置などが異なることがあります。）

図１Ａ、直管の蛍光管を使用するとき

１０Ｗ直管用ソケットは付属していません。別途御買い求め下さい。

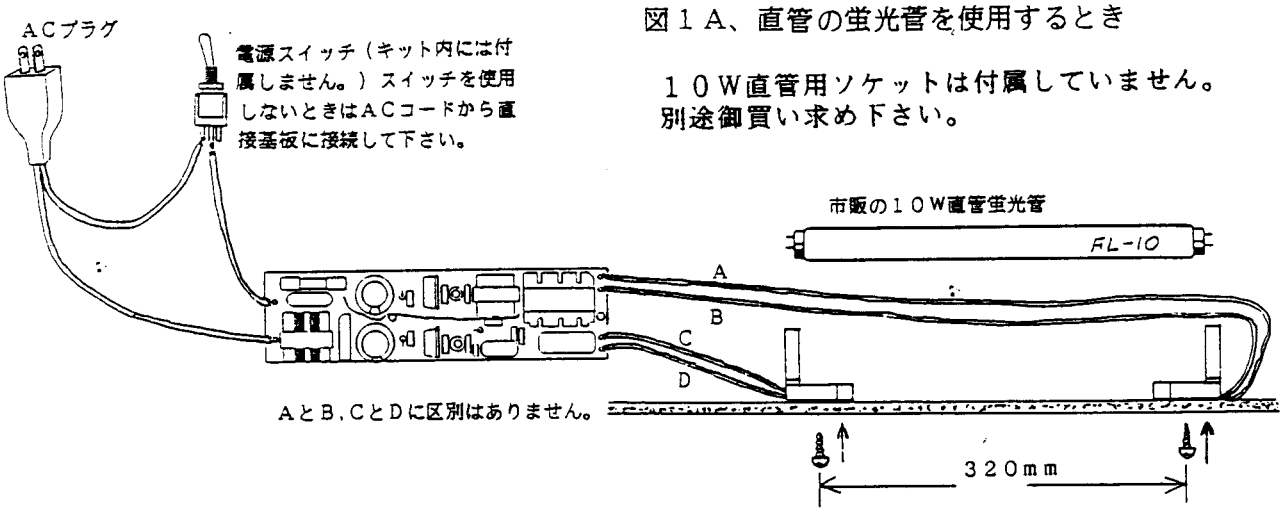
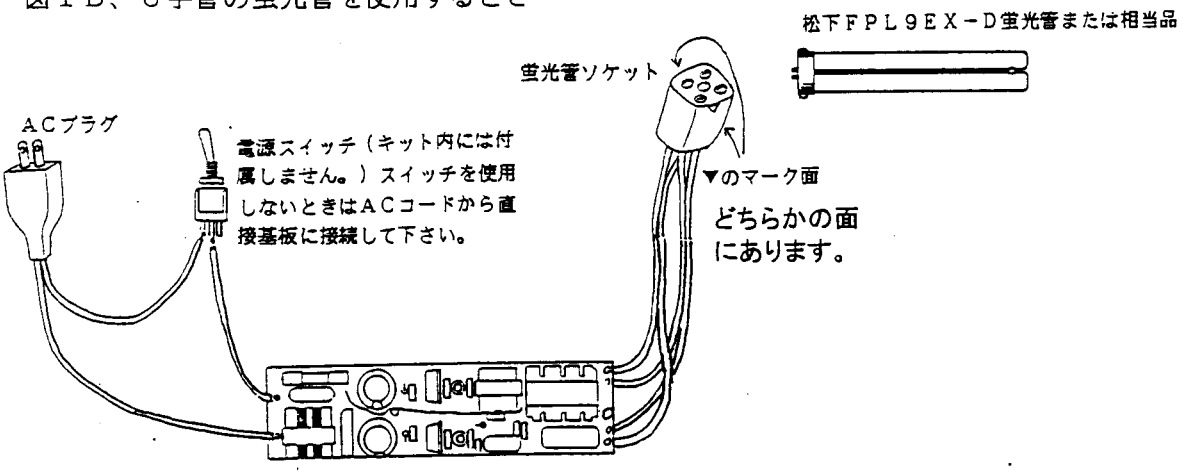


図１Ｂ、Ｕ字管の蛍光管を使用するとき



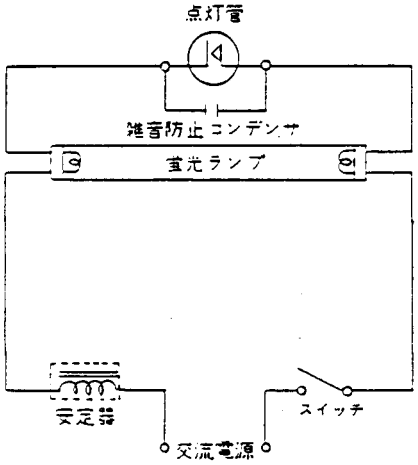


図２Ａ、安定器タイプの蛍光灯回路

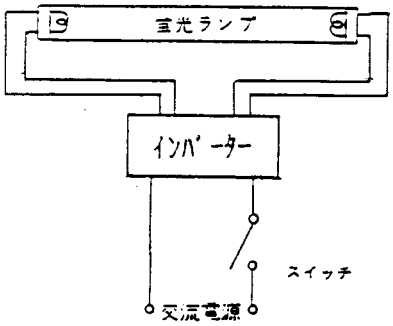
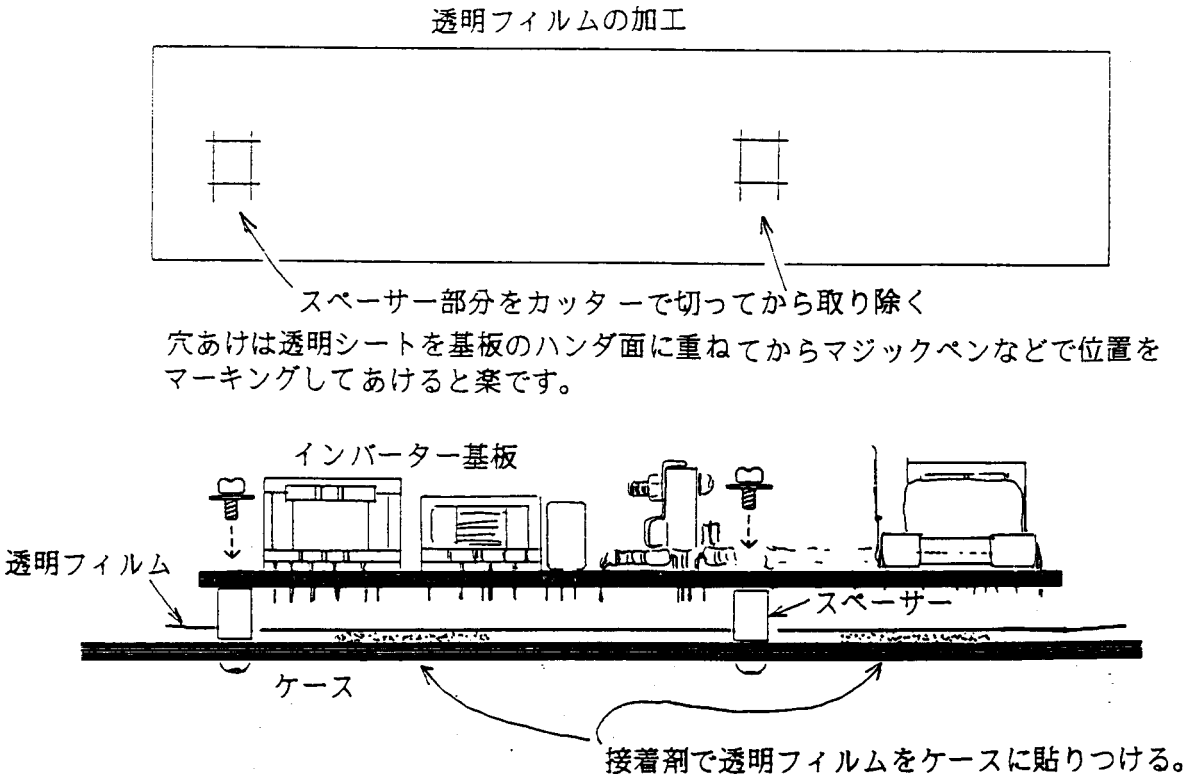


図２Ｂ、インバータータイプの蛍光灯回路

基板を固定して下さい。取り付けの際、基板のハンダ面はケースの金属部分でショートしない様スペーサーなどで浮かせて取り付けます。付属の透明シートは絶縁用のシートです。

基板と取り付け部分の間に接着剤などで接着して使用します。絶縁シートを使用する場合も基板はケースから浮かせて取り付けて下さい。

図３、ケースへの取り付け方



【配線チェック】
接続に誤りが無いか、ハンダ付け部分は確実か、基板のハンダ面のショートなどが無いか、充分に確かめて下さい。

【動作チェック】
配線チェックが異常無ければ蛍光管を取り付けＡＣプラグをコンセントに差し込んで下さい。スイッチをつけた場合はスイッチを入れて下さい。正常な場合１秒以内に蛍光管が点灯します。異常な場合、すぐ電源を切り、各部の接続を点検して下さい。どうしても異常が発見できない場合、注意の項を読んだ上、適切な処置を行なって下さい。

【使用上の注意】
◆基板面には電源の１００Ｖが直接つながっています。通電中は絶対に基板面及び部品には触れないで下さい。また、基板面を触るときは必ずコンセントからプラグを抜いて、１分以上置いてからにして下さい。
◆蛍光管へのコネクタを抜き差しするときは必ずコンセントからプラグを抜いて行なって下さい。
◆インバーター基板を取り付けるときは基板裏でのショートが起こらないよう、そして、脱落しないよう取り付けて下さい。また、基板周囲は放熱を良くし、燃えやすいものを近ずけないで下さい。
◆インバーター及び蛍光管への接続部に水分のかかる場所では絶対使用しないで下さい。また、湿度の高い場所でのご使用も避けて下さい。
◆指定された使用法以外で使用すると故障の原因になります。指定された蛍光管以外でのご使用はお避け下さい。また、接続方法及び仕様を充分確認してご使用下さい。
◆ヒューズが切れた場合、同一定格のヒューズと交換して下さい。なお、何度も切れる場合は修理依頼して下さい。その他の故障の時もご自分で修理せず、必ず修理依頼して下さい。
◆赤外リモコンの受信機の受信部近くで点灯させると、赤外リモコンが動作しないことがあります。この様なときは受信機からインバーター基板及び蛍光管を離して下さい。
◆ラジオ受信機の近くで点灯させるとラジオ受信機にノイズが入ることがあります。この様なときはラジオ受信機とインバーター基板及び蛍光管を離して下さい。
◆危険ですのでインバーター基板は絶対に改造しないで下さい。
◆蛍光管の寿命に近くなると、完全に点灯しない状態になります。その場合は速やかに蛍光管を交換して下さい。
◆出力短絡、開放保護回路が入っていますが、故意に出力を短絡、開放にしないで下さい。
◆点灯中、点灯直後は蛍光管およびインバーター基板が熱くなっていますので注意して下さい。
◆蛍光管の取扱は各蛍光管の説明書を参照下さい。
◆製品仕様は予告なく変更する場合があります。ご了承下さい。